

岡崎城下二十七曲りシンポジウム

『歩いて感じる岡崎の誇りと感動』

東海道第38番目の宿場町である岡崎宿は、宿場町であると同時に、城下町であり、城下を通る東海道は、「岡崎城下二十七曲り」と呼ばれ、屈折の多い、その町並みの長さでも有名です。

入場無料
定員150名
(当日先着順)

とき 平成23年1月30日(日)
ところ 図書館交流プラザ「りぶら」301～303
開場 13:00 **開演** 13:30 **閉演** 16:30

ご来場にあたっては、環境に配慮し公共交通機関をご利用ください。

<プログラム>

- 13:00 開場
- 13:30 開演・あいさつ
- 13:40 基調講演 「二十七曲りの歴史的価値と魅力」
愛知教育大学名誉教授 新行 紀一氏
- 14:20 二十七曲り沿線小学校(梅園・根石・連尺小学校)取組紹介等
(休憩)
- 15:10 パネルディスカッション「二十七曲りを活用したまちづくり」
<コーディネーター>
白井 宏幸氏(NPO岡崎都心再生協議会理事長)
<パネリスト> 敬称略 五十音順
浅井 信太郎(ハ丁味噌協同組合)
磯部 亮次(磯部ろうそく店)
植野 藍子(岡崎ウォーキング協会)
中野 敏雄(合名会社備前屋)
平松 隼司(岡崎中央ライオンズクラブ)
- 16:30 閉演

講師紹介

新行 紀一 (のりかず)
1937年 北海道旭川市生まれ
1965年 東京教育大学文学研究科終了
文学博士
愛知教育大学名誉教授
岡崎市文化財保護審議会委員長
主要著書 『一向一揆の基礎構造』
『新編岡崎市史 中世2』



二十七曲り全図

■主催/岡崎市 ■問合せ先/岡崎市企画財政部政策推進課

TEL:0564-23-6408 <http://www.city.okazaki.aichi.jp/menu8061.html>

下図「塩の道屏風-岡崎城下町の図」からさわてゐるふみ